

情報システム学会会員各位

役員選挙に関するご案内

選挙管理委員会

2008/03/01

I) ご案内の概要

先に、本年度役員選挙につきまして、次のスケジュールをご案内いたしました。

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| i) 役員候補者の推薦受付 | 02/01(金)～02/14(木) |
| ii) 役員候補者一覧表の公示 | 03/01(土) |
| iii) 電子投票のための ID とパスワードの送付 | 03/12(木) |
| iv) 電子投票の実施 | 03/12(木)～03/22(土) |
| v) 投票結果の公示 | 03/25(火) |

今回は上記 ii に従って、まず役員候補者の一覧表を公示いたします。

これと同時に、推薦を受けた役員候補者の数が今回の改選定員枠を超えなかったため、これ以降に予定されていた行事(上記の iii、iv、v)が中止され、これをもって今年度の役員選挙が終了したことをご案内致します。

II) 役員(理事)候補者の一覧

今回指定された期間中に、推薦届を選挙管理委員会宛に提出された役員候補者は、次の 6 名の方です。各候補者の推薦人、経歴、推薦理由は「本御案内 2～7 枚目」をご参照下さい。

伊藤 重隆
金井 一成
杉野 隆
高木 義和
竹並 輝之
山本 喜一

III) 無投票当選

今回の理事改選の定員枠は、前回の公示でご案内致しましたとおり、7 名です。

従って、予定されておりました電子投票は実施されません。

さらに

「上記 6 名全員を今回の選挙の当選者とする」

という案件は、去る 2 月 16 日に開催された第 34 回理事会で承認されました。

IV) 選挙の終結

以上をもちまして本年度の役員選挙は終結致します。

推薦届

1. 候補者

役員種別 理事

氏名 伊藤 重隆

2. 推薦人

理事会推薦

3. 候補者の経歴

(1) 略歴

1972年 慶應義塾大学工学部 卒業

1972年 富士銀行入行

システム開発室、NY富士銀行信託、システム開発部等を歴任

2002年 富士総合研究所情報システム第2部長

2004年 (株)みずほデータプロセッシング 常務取締役

2006年 みずほ情報総研(株) 品質管理部長 現在に至る

(2) 著書等

個人情報保護とリスク分析(共著) 2005年10月 日本規格協会

情報セキュリティのためのリスク分析・評価(共著) 2004年7月 日科技連出版 社

内部統制Q&A―経営幹部の疑問にズバリ答える(共著) 2006年10月 日経BP社

(3) 学会活動

経営情報関連学会内部統制タスクフォースWG参画

情報システム学会 「情報システムのあり方を考える」会研究会 主査

編集委員会委員

4. 推薦理由

伊藤 重隆氏は、本情報システム学会創立に際して発起人の一人として重要な役割を果たしました。設立後は「情報システムのあり方を考える」会研究会の主査として、時宜を得た数多くの研究テーマについて研究会を開催し、その報告書を「2006年度研究会報告書(約300ページ)」としてまとめられ、学会の発展に大きく貢献されました。

企業にあつては、日米の銀行業界における多くの情報システムの開発経験を持ち、一方で、内部統制に関する研究実績をまとめて講演するなど実業界、学界を通じた幅広い研究テーマによる研究会活動をしておられます。

伊藤氏の高い識見と行動力が本学会の発展に大いに寄与することを確認し、ここに理事として推薦する次第です。

以上

推薦届

1. 候補者

役員種別 理事

氏名 金井 一成

2. 推薦人

理事会推薦

3. 候補者の経歴

(1) 略歴

昭和42年 慶応大学 管理工学科卒

NEC入社

主として、製薬会社、病院の情報システム開発にプログラマー、SE、
プロマネとして従事。

昭和48年 米国 USC 医用生体工学科にて学ぶ

平成12年 NECソリューションカンパニー全社のCS(Customer Satisfaction)と
品質管理を統括

平成15年 NECフィールドイング 常勤監査役

平成19年 金井ビル株式会社 代表取締役 現在に至る

(2) 著書・論文

- ・ 第7回医療情報連合大会論文集 「画像診断レポートシステムデータベースの構築」
入江五郎、宮坂和男、稲村清也他
- ・ 情報処理学会 パネル討論会 「利用者・開発者それぞれの世界」 水野睦男、橋本茂治、
山本泰行
- ・ 医科機械学、60(4); 201, 1990 大阪大学中央手術部 池田卓也、森隆比古、
河合敏博

(3) 学会活動

- ・ 情報システム学会理事、および研究普及委員長、総務副委員長
- ・ 総会、研究発表大会に第一回から携わる。

4. 推薦理由

金井氏は、本情報システム学会創立に際しては発起人の中でも重要な牽引役の一員として大きく貢献しました。理事として、企画委員の任務を果たし、そしてこの一年間は研究普及委員長、総務副委員長として貢献してこられました。とりわけ昨年12月の新潟にて開催された第3回研究発表大会の企画準備・運営面では大きな役割を果たし成功裏に導いてくれました。

また、企業人として情報システム分野において長年に亘り、多種多様なプロジェクトを通して、時代を先導する高度な情報システムの構築と保守運用に実務面から多数関わると同時にプロジェクトマネジメントと経営に携わって来られています。

産業界からの多くの会員参加と交流を通して新たな価値の創造を標榜する情報システム学会において、金井氏は、現場経験に併せて学問的見地からも高い識見に立った論評と行動力によって、本学会の今後の発展に多いに貢献していただけるものと期待されますので、理事会として推薦いたします。

以上

(1) 候補者
役員種別 理事
氏名 杉野 隆

(2) 推薦人
理事会推薦

(3) 候補者の履歴
1969 年 東京大学工学部計数工学科卒業
1969 年～1997 年 新日本製鐵及び新日鉄情報通信システムに勤務
1997 年～1999 年 ㈱シリウス勤務
1999 年～2001 年 新潟国際情報大学教授
2001 年～現在まで 国土舘大学情報科学センター教授

(4) 推薦理由

杉野隆先生は、30 年間にわたり企業の情報システム部門に SE として在職し、業務システムの開発、社内ネットワークの開発、運用管理、ネットワークサービス事業の企画、構築に従事してきた。企業在職中には、情報技術のメーカーと社内エンドユーザの仲介役として、企業内での情報システム・ネットワークの開発、利用定着に努めた。

その後大学に転じ、現在は国土舘大学に勤務し、情報リテラシ、情報科学、経営情報システムなどに関する教育に従事するとともに、情報システム学、情報セキュリティ管理などの研究を行っている。研究成果の一部は文末に記す著作にまとめられ、その内容はたいへん高い評価を受けた。

情報システム学会の活動に関しては、前身の HIS 研究会からのメンバーであり、学会設立に際しては、設立発起人の一人であった。以後、企画委員会委員長、編集委員会委員、メルマガ編集委員会委員を務めている。ロードマップ討議の取りまとめをはじめとして、学会の基幹となる重要な活動に積極的にかかわり、多くの貢献をされている。

主な著作は以下のとおり。

- ・著書 『システムの運用と管理』（共著）、オーム社、1990 年
『Impacts of Information Technology on Management and Socioeconomics』（共著）、Maruzen Planet、1995 年
『情報システムの運営』、共立出版（共著）、2005 年
- ・訳書 『X.25 プロトコル入門』、オーム社、1992 年
『ネット情報セキュリティ』（共訳）、オーム社、2002 年

推薦届

1. 候補者

役員種別 理事

氏名 高木 義和

2. 推薦人

理事会推薦

3. 候補者の経歴

(1) 略歴

1973年 京都大学農学部 卒業

1973年 日本専売公社入社

中央研究所、本社特許センター、本社技術調査室、本社科学情報部等を歴任

1983年 京都大学農学博士

1987年 (財) バテルメモリアル研究所 客員研究員

1996年 新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科教授 現在に至る

(2) 著書等

日本と北米における情報サービス産業の構造比較

(新潟国際情報大学情報文化学部紀要 Vol.10 Apr. 2007)

水府葉たばこの香気成分に関する研究 (京都大学農学部博士論文 1982)

インターネットにおける情報検索 (情報管理 Vol. 38, No10 Jan. 1996)

(3) 学会活動

情報システム学会理事

産業界からの論文発表を促進するための研究会 主査

4. 推薦理由

高木義和君は、情報システム学会発足以来、事務局の業務を遂行しながら、理事の任務を果たしてきました。第3回全国大会・研究発表大会では実行委員長として、初めての地方大会を成功させた第一人者であります。産業界からの論文発掘・執筆指導にも多大の貢献をされております。情報システム学会の発展のために、大学、産業界および学会にわたるこれまでの経験を生かして、さらなる活動が期待されますので、理事会として推薦いたします。

以上

推薦届

1. 候補者

役員種別 理事

氏名 竹並輝之

2. 推薦人

理事会推薦

3. 候補者の経歴

(1) 略歴

1965年 慶應義塾大学大学院工学研究科修士課程終了

1965年 東京芝浦電気（株）入社

情報システムの開発、プロジェクト管理等を歴任

1994年から 新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科教授

(2) 著書

「多変量解析の基礎」（共訳）サイエンス社（1972）

「情報システムハンドブック」（共編）培風館（1989）

「応用システム開発の重点解説」（共著）アイテック（1995）

「情報システム基礎」（共著）オーム社（2006）

(3) 学会活動

情報システム学会理事・副会長

情報処理学会情報システム教育委員会委員

4. 推薦理由

竹並輝之君は、情報システム学会発足以来、事務局の業務を遂行しながら、理事の任務を果たしてきました。現在は副会長として多大の尽力をされています。また、情報システム分野に関わる著書も多数執筆されるなど、学術的にも高い貢献をされています。情報システム学会の発展のために、さらなる活動が期待されますので、理事会として推薦いたします。

以上

推薦届

1. 候補者

役員種別 理事

氏名 山本 喜一

2. 推薦人

理事会推薦

3. 候補者の経歴

(1) 略歴

1971年 慶應義塾大学修士課程 工学部工学研究科管理工学専攻修了
同年 慶應義塾大学情報科学研究所 助手
1975年 慶應義塾大学博士課程 工学部工学研究科管理工学専攻単位取得退学
1981年 スウェーデン王国リンシェーピング大学工学部電気工学科 客員教授
1984年 慶應義塾大学情報科学研究所 専任講師
1987年 工学博士
同年 慶應義塾大学情報科学研究所 助教授
1989年 慶應義塾大学理工学部計測工学科 助教授
1996年 慶應義塾大学理工学部情報工学科 助教授
2007年 慶應義塾大学理工学部情報工学科 教授
同年 兼 大学情報処理教育室 室長 現在に至る

(2) 著書等

情報科学辞典 岩波書店

コンピュータソフトウェア事典 丸善

情報システムハンドブック 培風館 ほか 著書多数

統合シミュレーション支援システムに関する研究 (博士論文)

SmartMobile: アプリケーションの部分的なオンデマンドローディングを支援する
フレームワーク 電子情報通信学会論文誌 (2006年9月) ほか 論文多数

(3) 学会活動・社会活動

情報システム学会理事

情報システム学会誌 編集委員長 (2005～2006年度)

ISO/IEC JTC1/SC35 日本首席代表、日本規格協会オンラインドキュメンテーション
委員長など、多数の社会的活動を行なっている

4. 推薦理由

山本喜一君は、コンピュータと人間との関わりをさらに親密にするヒューマンインタ
フェースやシステムの動的適合など、学会の設立理念に直結した研究を進められてお
り、多数の著書・論文など、その業績はめざましいものがあります。また、国内外の
情報技術標準化への多年の貢献から、大臣表彰を初め度重なる賞を受けられています。
情報システム学会発足以来理事として学会誌の編集委員長を務めて頂きました。情報
システム学会の発展のため、大学、学会および国内外にわたるこれまでの経験を生か
して、さらなる活動が期待されますので、理事会として推薦いたします。 以上